

2020年9月30日

「公益信託山本猛夫記念奨学基金」認定書授与式開催
～新規奨学生は4名、奨学生は累計で113名に～

株式会社山善（本社：大阪市西区／代表取締役社長：長尾雄次、以下「当社」）は、経済的な理由等により、修学困難な学生をサポートすることを目的として、「公益信託山本猛夫記念奨学基金」を設立し、委託者として支援しています。今年度は新たに4名の学生が新規奨学生として認定され、9月29日には認定書の授与式が当社の大阪本社にて行われました。



（左から）代表取締役社長 長尾雄次、新規奨学生4名、取締役 常務執行役員 山添正道

「公益信託山本猛夫記念奨学基金」は、当社の創業者である山本猛夫の「勉強したくても十分に出来なかった悔しさをバネに経営に打ち込んできた。一人でも多くの人に勉学に励んで欲しい」という強い遺志を継承し、1992年に設立されました。当基金から奨学金を受けた学生はアジアからの留学生を含め、今回の認定で累計113名となりました。奨学生は各方面で活躍しています。

9月29日に行われた授与式では、当社代表取締役社長の長尾雄次が奨学生に向けて激励の言葉を贈りました。続いて新規奨学生に認定された4名が認定書を受け取り、さらなる学業への精進を誓いました。

今後も当社は、一人でも多くの学生が勉学に励む機会を持ち、社会進出できるよう支援を行いながら、「人財育成」を通して社会に貢献してまいります。

【参考：創業者・山本猛夫について】



山本猛夫（やまもと・たけお 1921～1991）

1921年福井県生まれ。14歳で大阪・立売堀の機械工具商「(株)前田軍治商店」に丁稚奉公。働きながら夜間の西第二商業学校にて学ぶ。1943年に山善の前身である「大阪工具製作所」を設立。その後太平洋戦争に応召、生還。

1947年に「山善工具製販株式会社」を設立。1970年には東京・大阪株式市場の第一部への上場を果たす。1971年に「株式会社山善」に社名変更。1973年には自身をモデルにした小説「どてらい男」が、テレビドラマ化され、3年半にわたり全国放映されるなど人気番組となった。1991年に会長に就任、同年逝去。正五位叙位、勲三等瑞宝章受章。

※ ニュースリリースの内容は発表時のものです。

閲覧いただいている時点では内容が異なっている場合がありますのでご了承下さい。

(お問合せ窓口) 株式会社 山善 広報・IR室 担当 本井
電話 (06)6534-3095
E-mail : info07@yamazen.co.jp